

とんがりやね

2023. 5. 1

第185号

<http://wataraseyogoen.jp/>

発行：社会福祉法人桐の実会 わたらせ養護園

〒376-0131 群馬県桐生市新里町奥沢 59-1 TEL 0277-74-0343 FAX 0277-74-0722



「千里の道も一歩から」

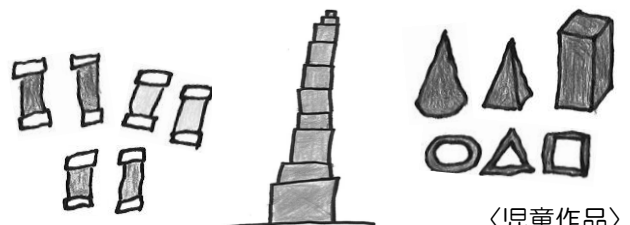
施設長 太田徹

4月1日、39名の子どもたちと新規採用職員5名を迎え、計27名で令和5年度がスタートしました。昨年度は求人活動や新型コロナの対応に迫られた一方、キッズデザイン賞の受賞を始め、ご寄付ご寄贈とたくさんの方々に応援していただきました。「千里の道も一歩から」とあるように、大きな出来事も、目の前のことから着実に始めることが大切だと感じました。

新型コロナが日本で流行して3年、私たちの生活様式や価値観は大きく変わりました。今までわたらせを守ってきてくれた先輩方への感謝の思いで、草創期から実践しているモンテッソーリ教育を園内研修で学びます。モンテッソーリ教育には、「線上歩行」という活動があります。これは、子どもが側溝や縁石の上を歩きたがる気持ちを上手に活用しており、線の上を歩くことで体のバランス感覚を養います。モンテッソーリのよう

に、子どもをよく観察することは支援者である我々にとって大切な視点であると思います。

「モンテッソーリ教育における児童観」という著作の中に「子どもは人間を変えることができる。子どもを中心にすれば、冷淡さはなくなってしまふ。子どもの澄んだ眼を眺めただけでも、人の心に無邪気さへの憧れをめざめさせるものである」とあります。ノーベル平和賞候補に3度も推薦されたモンテッソーリが強く願った平和への思いを感じながら、まずその教育法を吸収し、目の前にいる子どもたちへの支援に活かしていきたいです。



〈児童作品〉

職員研修会

令和5年度職員研修会を行いました。理事長による辞令交付、施設長による運営方針、各係から申し合わせ事項があり、最後は羽鳥職員のピアノに合わせて園歌斉唱、わたらせ体操で閉会しました。

理事長から言葉を大切にされているというお話をいただき、職員一同大変感銘を受け、涙する職員もいました。昨年度からパウハラ対策が義務化され、今まで以上に言葉に気を付けなければならない時代となりました。みんなの心に強く刻まれた理事長の言葉への思いをご紹介します。



野口理事長より辞令交付



ピアノ伴奏に合わせて園歌・わたらせ体操

私の朝の祈りのひとつ

人を励ます言葉を使っています
人の魂を高めるような言葉を使っています
人の運を高めるような言葉を使っています
人を元気にするような言葉を使っています
人を幸せにするような言葉を使っています
人を健康にするような言葉を使っています
痛み苦しみが軽くなるような言葉を使っています
今日も喜んで使わせて下さい

新任職員挨拶

4月から保育士としてお世話になります。坂井友香と申します。子どもたちと触れ合う中で、たくさんの元気とやる気を貰っています。これから子どもたちと楽しく過ごしていけるよう努めていきたいと思っております。不馴れなことが多く、皆様にご迷惑をおかけすることが多々あるかと思っておりますが、一日でも早く仕事を覚えられるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

保育士 坂井友香

この春よりわたらせ養護園で働かせて頂くことになりました、田中裕美と申します。埼玉県秩父市出身で、幼少期は自然の中で過ごしました。子どもたちが満開の桜の下で遊ぶ姿を見ながら懐かしく感じます。元気いっぴいの子もたちと優しく丁寧に指導くださる先輩方のために、一日も早く仕事を覚えてお力になれるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

保育士 田中裕美

今年度から保育士としてわたらせ養護園に入職いたしました、湯澤ひかりと申します。幼い頃から子どもと関わる仕事に就きたいと考え、施設実習を通して園での生活、マカトン法等を活用した支援方法などを多く学び、就職したいと強く感じました。第一志望だったこの園で働くことができ、とても嬉しく思っております。一日でも早く現場に慣れ、子どもたちの成長を支援し、見守れるように努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

保育士 湯澤ひかり

今年度から調理員としてお世話になっております、福田です。子どもたちの元気の源の食事面でご縁をいただいたことにとっても感謝しております。常に安心・安全な食事作りを心掛けており、苦手なものも「美味しい！」と言ってもらえるように工夫しながら食事作りに励んでいきます。ご迷惑をお掛けすることもあります。どうぞよろしくお願い致します。

調理員 福田純子

退任職員挨拶

新卒の頃からお世話になり、毎日全力で一度も止まらず駆け抜けた11年間はとても濃く、とても幸せなものでした。いつも子どもと職員の笑い声で溢れている園舎は、私にとって何よりも大切な場所でした。あたたかなこの場所を離れるのは寂しくてたまりませんが、わたらせで得たものと思い出を胸に、次に進もうと思っております。子どもたちの健やかな成長と、職員の方々のご健勝、そして、わたらせ養護園の更なる発展を願っております。ありがとうございました。

主任児童指導員 柿沼佳奈子

振り返れば子ども達との毎日は本当にあっという間で、輝いていました。たくさん笑って泣いてぶつかりあいながら過ごした日々は、色あせることなく一生の思い出として残ることと思います。どんな時でもまっすぐにぶつかってきてくれる子ども達から、たくさんのことを学び、励まされてきました。最後になってしまいますが、わたらせ養護園での全ての出逢いに感謝です。本当にありがとうございました。そして大変お世話になりました。

児童指導員 今泉翔子

わたらせ養護園にご縁をいただいて、7年6カ月が過ぎ、一区切りをつけようと退職することを決めたのは、やはり大病と怪我をきっかけにでした。毎日、子どもの笑顔と成長を見ながら仕事をする日々でした。泣いて、笑って、怒って、子どもたちの声が好きです。太巻き寿司、にぎり寿司、おはぎ、皆で色々な初めて手作り料理に挑戦して、反響があって、作りがいもありました。料理作り楽しかったです。ありがとうございました。

調理員 川口和美

〈退職・採用者紹介〉

退職

支援員の樋口正さんと調理補助の山形明子さんは昨年度末で退職されました。ありがとうございました。

採用

今年度4月から調理補助として、大串良子さんにお勤めいただくことになりました。よろしくお願い致します。



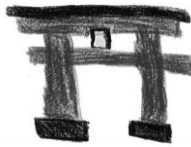
できごと



〈児童作品〉

節分

2月3日。節分の絵本を読み、「鬼のパンツ♪」をみんなで歌いました。歌に合わせて踊り出し、鬼になりきる子どもたち。次は鬼の大きな的に向かって、「鬼は外！福は内！」の掛け声で豆まきをします。夕食は恵方巻でした。今年の方角の南南東を向いて、美味しそうに食べていました。



初午

2月5日。裏山にあるお稲荷様へお参りに行きました。油揚げやいわしなどをお供えし、各部屋の代表となった子どもたちが、「元気に過ごせますように…」とみんなの分までお祈りをしてくれました。夕飯にいなり寿司ができました。「キツネさんも好きなやつだよ！」と大興奮の子どもたちでした。



ひなまつり

3月3日。ひなまつりのお祝いをしました。学校から帰ると、「今日は女の子のお祝いする日だよ！」と口を揃える子どもたち。女の子はとても楽しみにしていたようです。ひなまつりの絵本を読んだり、クイズをして、「うれしいひなまつり♪」を歌いました。女の子の可愛らしい歌声が園内に響き渡りました。夕飯のメニューには豪華なお寿司やひなあられがあり、笑顔の絶えない時間となりました。



3月13日 卒業式

卒業おめでとう



小学部 9 名、中学部 3 名が無事卒業しました。小学 6 年生は 4 月から制服を着て中学生になります。授業時間が増え、作業の時間も始まります。中学 3 年生は、わたらせ養護園を退園して高校生としての新たな生活が始まります。嬉しさと寂しさと複雑な気持ちになりますが、一緒に過ごした思い出はいつまでもお互いの心に残ることでしょう。未来に向かって大きく羽ばたいてほしいと願っています。



3月23日 幼児部修了式

令和 4 年度は 2 名の児童が幼児部を修了しました。正装姿で、静かに椅子に座って参加できました。名前を呼ばれると元気に返事をして修了証書を受け取ることができ、発表の時にはアンパンマンの「サンサン体操」を披露してくれました。幼児部での活動や園の生活を通して成長した姿を感じることができ、4 月から始まる学校生活も安心して送り出せると思いました。幼児部修了、本当におめでとうございました。



幼児部修了児童と施設長



4月7日 入学式

入学おめでとう



今年の春から小学部 2 名と中学部 9 名が新一年生になります。新しく学校に通うことになった小学 1 年生は、毎日見送っていたバスに乗れること、ランドセルを背負えること、給食があることなど何もかもが楽しいよ



うです。新たにお世話になります先生方は、子どもたちの心強い応援団です。子どもたちも新たな世界が広がり、ますます成長していく姿を見るのが本当に楽しみです。入学、おめでとう！



生活の様子



春休み前に雪が降り、幼児部のお勉強で雪遊びをしました。あまり目にする事のない真っ白な外の景色に、子どもたちは目をまん丸にして驚いていました。雪だるまづくりに挑戦し、色んな大きさの雪だるまが出来上がりました。雪だるまを並べてみると、今にも動き出して雪だるまの行進が始まりそうでした。



とある日のおやつ前。職員による「おおきなかぶ」と「がらがらどん」のエプロンシアターが始まりました。子どもたちは次から次へとエプロンから飛び出すキャラクターに興味津々です。職員の掛け声のもと、おおきなかぶが抜けた瞬間はみんな大喜びでした。

グループ活動の紹介

●スヌーズレン



活動は月に1回、プレイランドにあるアクティビティルームとホワイトルームというお部屋を使って、子どもたちの思うままに自由にその時間を過ごしてもらっています。

●音楽グループ



音楽グループは、子どもたちの好きな曲に合わせて歌ったり、踊ったり、楽器に触れたりと楽しく活動しています。

●幼児部



幼児部では“お勉強”として、感覚学習、ミュージック、大機能学習を大きなテーマに、様々な支援を月毎に計画しています。

●太鼓グループ



和太鼓活動に興味のある児童を中心とし、子どもたちの中から複数名を選抜して行っています。

しゃぼんだまふわり

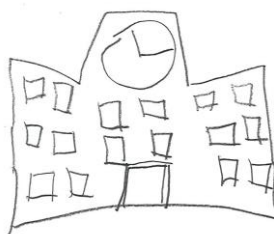
「新年度の始まりです」

保育士 岩野千亜里

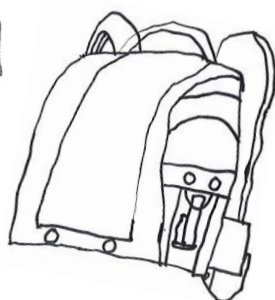


4月に入り新年度がスタートします。子どもにも職員にも新しい出会いがあり園はますます賑やかです。昨年度まで幼児部で日中一緒に過ごしていた子ども達が小学校へ入学します。入学式の朝、まだ小さな彼らの背中には大きすぎるくらいのピカピカなランドセル。「いってきます！」と大きな声で元気よく登校。数日前までランドセルを背負っていた6年生。まだ新しい真っ白な制服に身を包んで「中学生になったよ!!」と誇らしげに話す子。そんな彼らの姿を見て少しばかり視界が滲んだのを覚えています。

子ども達には日々たくさんの元気をもらっていますが、節目の時期にいつも感じている事は子ども達の成長です。お風呂が苦手な子が朝の洗顔にチャレンジしたり、学校で覚えたことや勉強したことを一生懸命に教えてくれたりと、毎日新しい発見があります。子ども達の成長していく姿を見ていると自分も「頑張らなくては」という気持ちになります。私自身も子ども達と共に日々成長していきたいと思えます。



〈児童作品〉



リモート研修

1月

- 13 民間社会福祉施設職員等退職手当共済事業
電子システム説明会（太田・久保田・山岸）
- 27 施設長部会（太田）

2月

- 3 サービス管理責任者更新研修（新井美果）
- 10 年金委員健康保険委員合同研修会（久保田）

3月

- 3 児童生活部会（太田）
- 8 事務部会（太田・久保田・山岸・中島）

4月

- 14 初任者研修（坂井・田中・湯澤）

出張

1月

- 20 共愛短期大学企業セミナー（太田）
- 26 産業安全衛生祈願祭（太田）

2月

- 16 育英短期大学実習・就職懇談会（太田）

ボランティア

団体

- 縫製 ハの会さん（2/21・3/14・4/11）

実習

保育実習

- 育英短期大学
河内永遠さん（2/20～3/3）

新規職員実習

- 坂井友香さん（3/20～3/29）
- 湯澤ひかりさん（3/20～3/29）
- 田中裕美さん（3/23～3/30）



本館廊下のガラス戸をサッシに入替えました。子ども達が安全に過ごせるように、窓には強化ガラスを入れました。休日、子ども達に窓拭きのお手伝いをお願いすると、どの子もはりきって腕を動かしてくれました。ピカピカになった窓を眺め、達成感を感じ、気持ちまでピカピカに磨かれたようでした。

❀❀❀❀❀❀❀❀ わたらせ養護園後援会だより ❀❀❀❀❀❀❀❀

不安定な社会情勢の続く中ではありますが、会員皆様よりあたたかいご支援をいただき、わたらせ養護園に大きな援助をすることができましたこと、心より感謝申し上げます。昨年度は、職員から提案されたアイデアをもとに、動きやすくスムーズな支援につながるよう園の室内外の各所修繕を行いました。子ども達も過ごしやすくなったことを願っています。

それでは、昨年度の会員状況を報告します。継続会員の方151名、新規会員の方3名、復活会員の方12名、増額会員の方10名、ありがとうございました。また、皆様から届きます振替用紙の通信欄の便りに職員皆励まされ楽しみにしております。本年度も皆様の情報交換の場として、皆様の日常の様子などお待ちしております。

後援会事務局

後援会の加入は年間を通じて受け付けています。事務局迄ご連絡下さい。

会費・特別会費1年1口 10,000円

個人会費1年1口 1,000円(できましたら2口以上お願いします)

事務局 〒376-0131 桐生市新里町奥沢59-1 わたらせ養護園内

わたらせ養護園後援会 TEL 0277-74-0343



ありがとうございます

(令和5年1月1日~4月30日)

ご寄付(敬称略、順不同)

岸泰宏(東京都) 岸厚次(千葉) 松崎靖(みどり市)
寺田道子、野口秀樹、DreamVoices(桐生市)

ご寄贈(敬称略、順不同)

株式会社ユウキホーム(埼玉) 五味洸勇一(栃木県) カーブス(前橋)
有限会社小林米穀店(みどり市) 野口秀樹、八の会、みやま園、諏訪歯科医院(桐生市)



DreamVoices様より、ライブの収益からご寄付をいただきました。



株式会社ユウキホーム様より、子ども達へ色とりどりのランドセルをいただきました。



カーブス様より、たくさんの食料品をいただきました。



みやま園様より、子ども達へ手づくりの体操着入れと上履き入れをいただきました。



編集後記

少しずつ暖かさが増し、春の訪れを感じています。子どもたちはそれぞれ進級を迎え、より一層お兄さん・お姉さんらしくなりました。日々成長をみせる子どもたちを見ながら、職員も一緒に成長し、有意義な時間を過ごせたらいいなと思います。

